

雲仙岳の火山活動状況

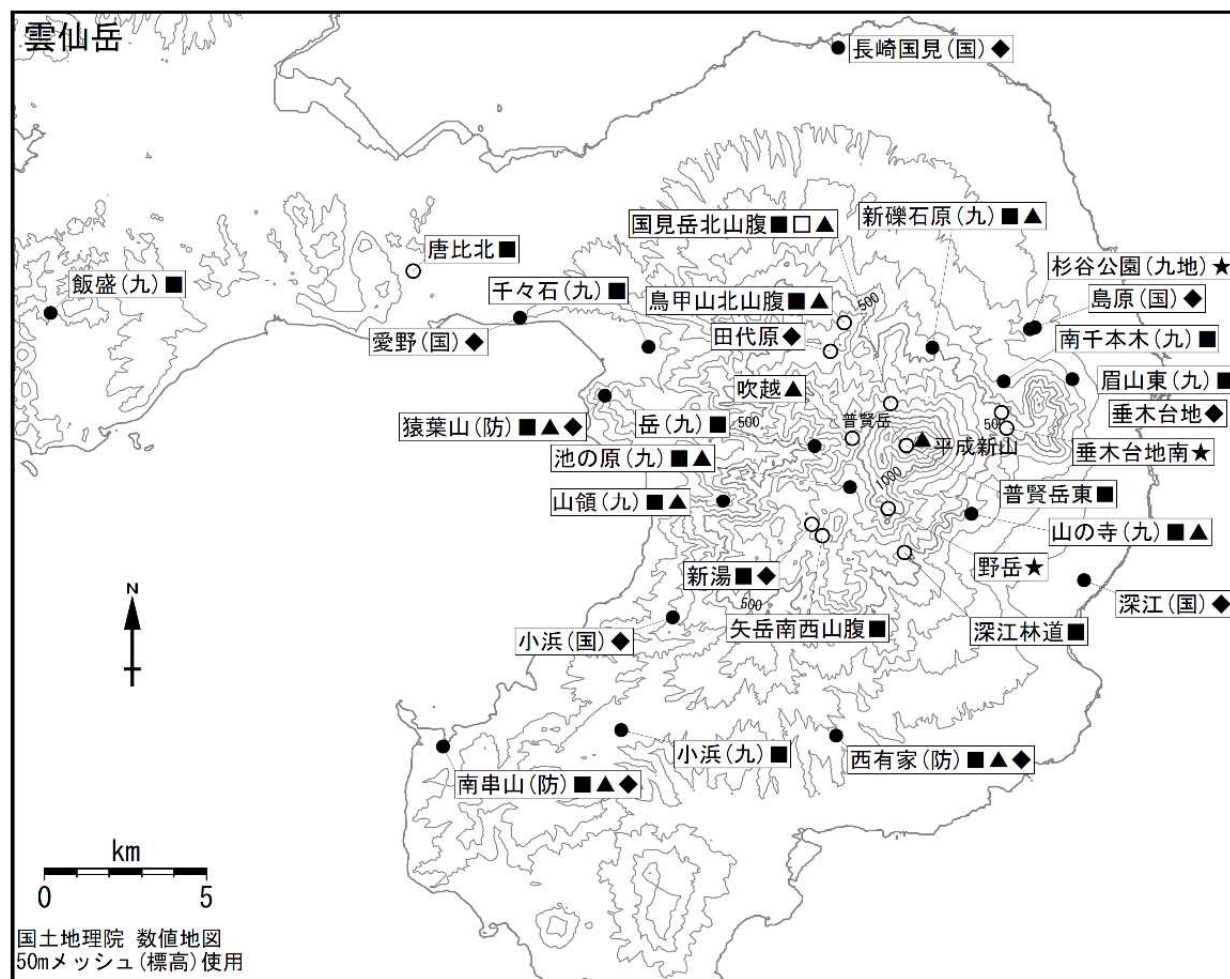
令和 3 年 2 月 1 7 日

令和 2 年度 雲仙岳火山防災協議会

長崎地方気象台

福岡管区気象台

観測点配置図



観測点配置図

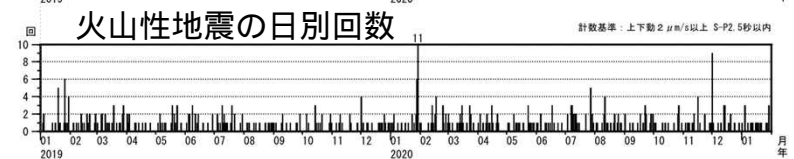
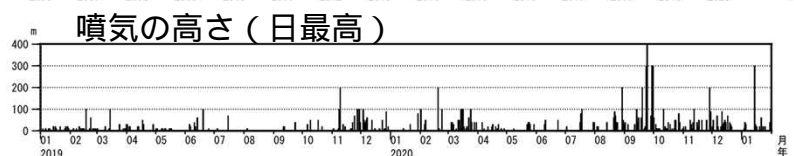
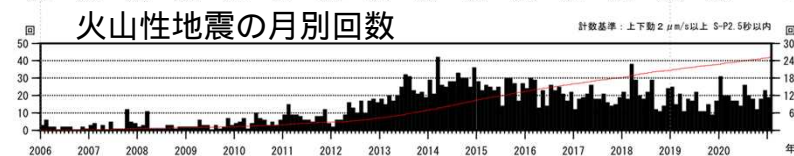
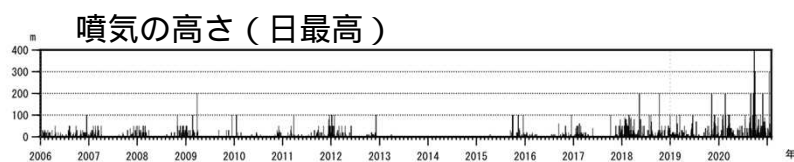
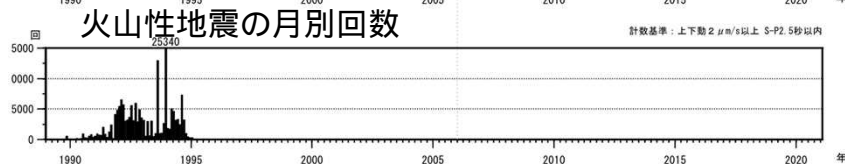
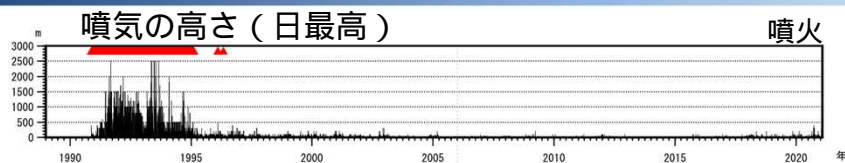
白丸 () は気象庁、黒丸 () は気象庁以外の機関の観測点を示す。

(国) : 国土地理院、(九) : 九州大学、(防) : 防災科学技術研究所、(九地) : 九州地方整備局

観測点名称の横の図形は観測機器を示す。

：地震計 ：空振計 ：GNSS ：傾斜計 ：監視カメラ

火山活動経過図

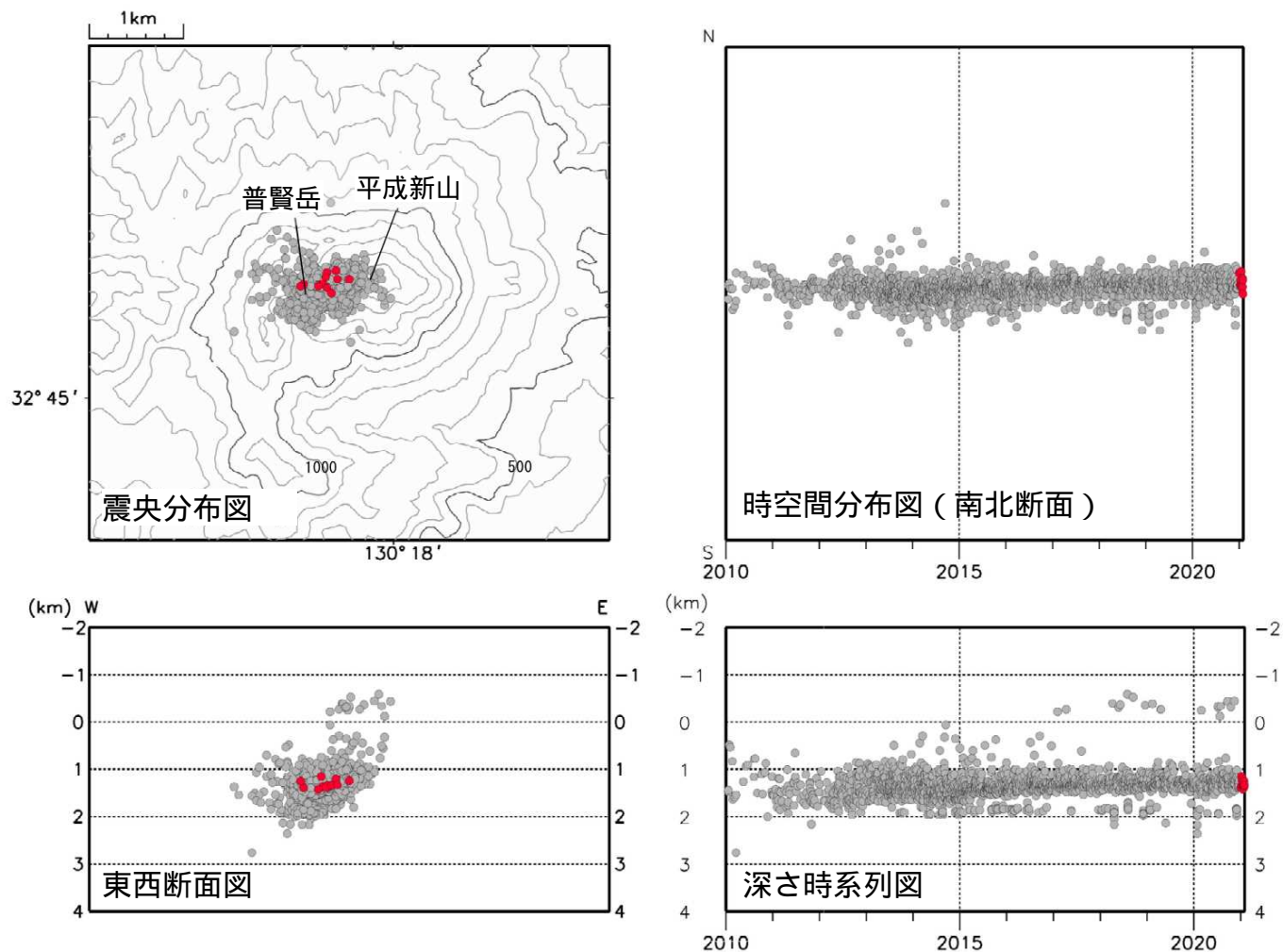


雲仙岳 平成新山の状況 (2020年9月24日)
高度400m 野岳監視カメラによる)

火山活動経過図 (・ 1989年 ~ ・ 2004年 ~ ・ 2019年 ~)

- ・ 白色の噴気が時々観測されています。過去1年間での最高高度は400mでした。
- ・ 火山性地震は1日あたり数回と少ない状態で経過しています。過去1年間では、2020年1月29日に11回、12月1日に9回と一時的に増加しました。
- ・ 長期的には、2010年頃から火山性地震が時々発生しています。

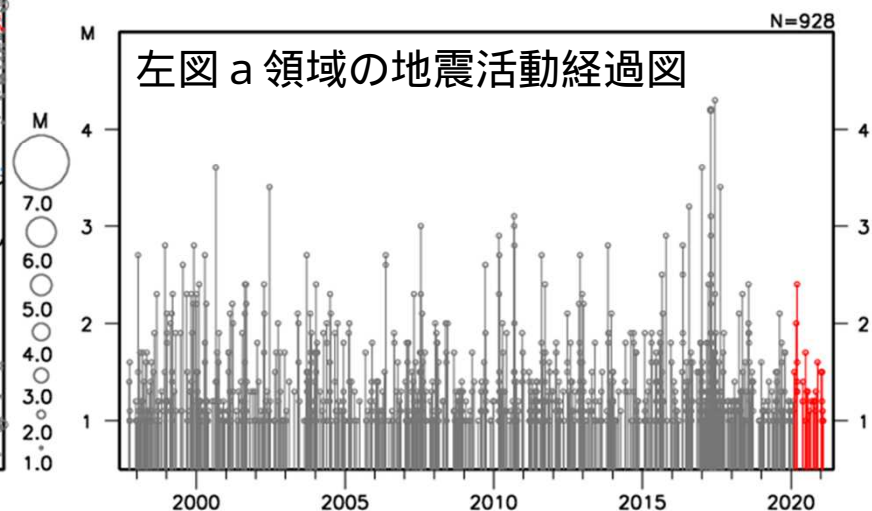
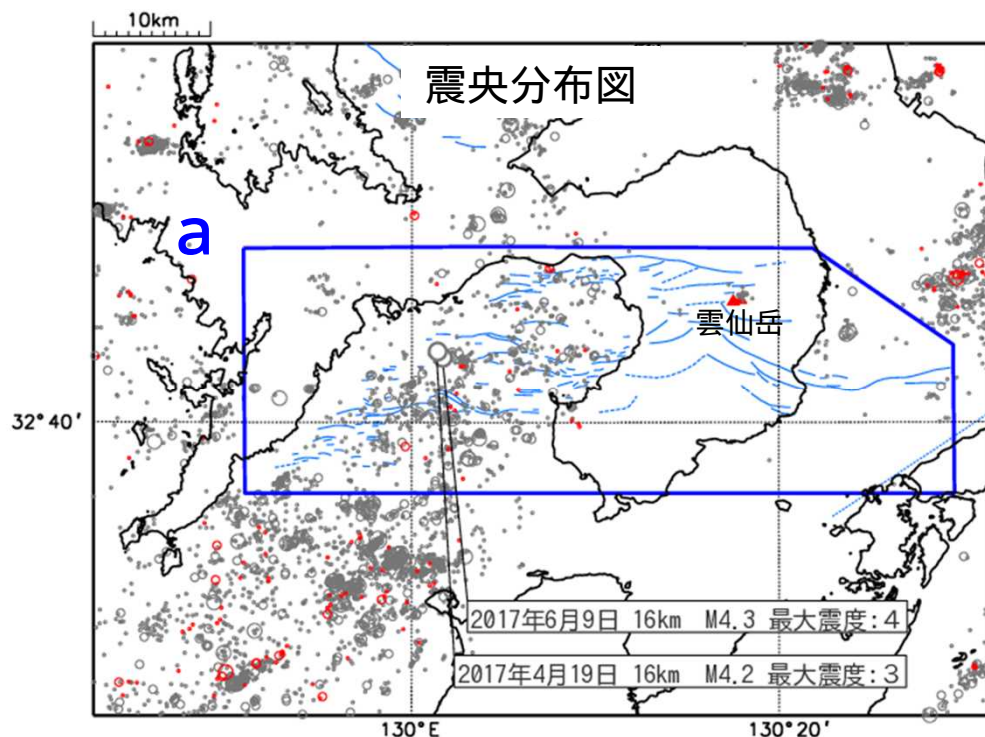
火山性地震の発生状況



火山性地震の震源分布図 (2010年1月~)

赤丸 () は2021年1月、灰丸 () は2010年1月~2020年12月の地震を示す。
・震源は、普賢岳から平成新山直下の深さ0 km付近と深さ1~2 kmに分布しました。

雲仙岳周辺の地震活動

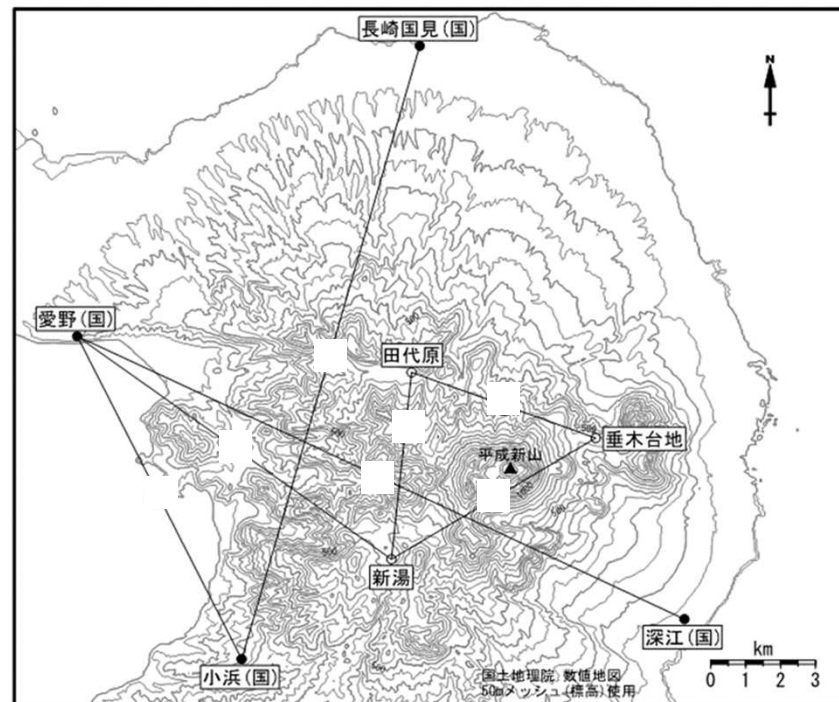
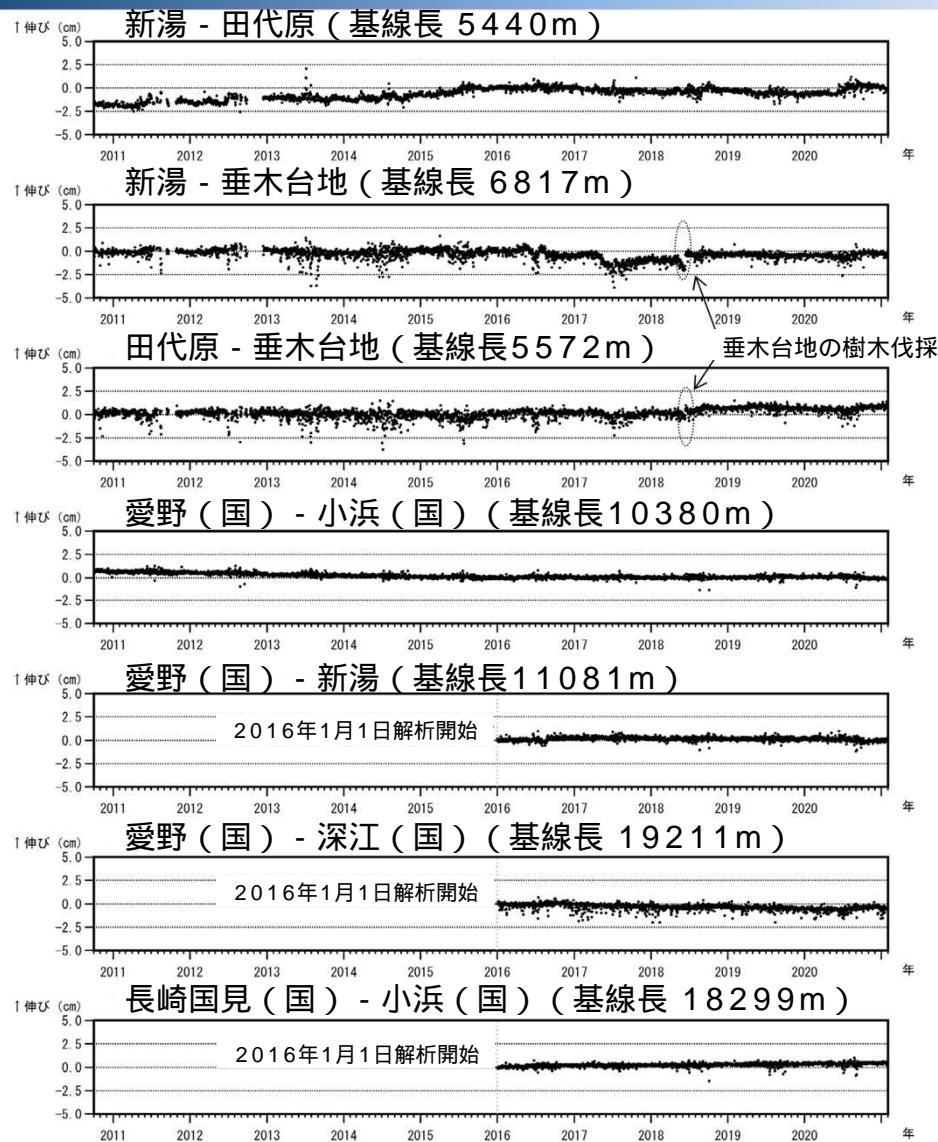


雲仙岳周辺の地震活動（1997年10月～）

赤丸（ ）は2020年2月～2021年1月、灰丸（ ）は1997年10月～2020年1月の地震を示す。

・雲仙岳周辺及び雲仙断層群では、定常的な地震活動で経過しています。

GNSS連続観測の基線長変化



GNSS連続観測点と基線番号

白丸()は気象庁、黒丸()は国土地理院

GNSS連続観測の基線長変化(2010年10月~)

- GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められませんでした。

- 火山活動に特段の変化はありません。
長期的には2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2kmを震源とする火山性地震が時々発生しています。
- 2007年（平成19年）12月1日に発表した噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）以降、予報事項に変更はありません。